国際ロータリー　第 2500 地区　第 8 分区　　JAPAN CHARTERED

弟子屈ロータリークラブ会報

2010～2011年度　RIテーマ
地域を育み 大陸をつなぐ

RI 会長：レイ・クリンギンスミス　　2500 地区ガバナー：柴田　和明

【2010-2011 年度　弟子屈 RC 理事・役員】

●会長（理事）今井善昭　●直前会長（理事）今井正蔵　●会長エレクト（理事）小林寿男　●副会長（理事）木暮敏男
●幹事（理事）桐木茂雄　●会計（理事）伊藤幸雄　●会場監督（理事）小家山勝　●職業奉仕（理事）筒井庄一
●社会奉仕（理事）鈴木幸栄　●国際奉仕（理事）竹森英彦　＊地区　●会員増強委員　今井正蔵

2011 年 3 月 9 日(水)　本年度 第 34 回　通算 2686 回　例会

- 開会点鐘(12:30)
- ロータリーソング
  奉仕の理想
- 食事
- 会長報告
- 幹事報告
- 委員会報告
- 本日のプログラム
- 寄付報告
- 出席報告
- 閉会点鐘(13:30)

本日の寄付

ニコニコ--　¥1,000
財　　団-----¥1,000
米　　山----¥15,000(年次)

寄付コメント

今井会長～本日から入院します、ご迷惑おかけします。

出席報告(鈴木会員)

会員数----19 名
出席数----13 名
出席率---68.4%

本日の昼食は「カツカレー」

【会長報告】今日から少しの間、病院に入ります。ご迷惑かけますがよろしくお願いします。／／関東のとある美容室では年に一度、お客さんに感動を与えた人(従業員)に大賞と賞を与える行事があり今回、受賞の対象になったのは、お客さんの名前の印鑑を手造りで彫ってその方にプレゼントした人と、大賞になったのはお客さんの母親が末期のガンのため、毎年楽しみにしている沖縄旅行に行けなくなったと聞き、その母親をお店に招待した。何のため？その日の店内には、ソテツが置かれ、床にはなんと砂がひかれ、波の音とともに従業員はアロハシャツで迎えたという。そのお客さんと母親はとても感動し泣いていたそうです。これを是非、ロータリークラブの職業奉仕の参考にしたいと思います。

【幹事報告】3 月のプログラムの一部変更、3 週目・16 日のプログラム⇒「鈴木会員の卓話」4 週目・23 日⇒18:30 ホテル摩周、IM 報告の後、懇親会◆ロータリー手帳の案内、IM の確認

【委員会報告】鈴木社会奉仕委員長　6 月 22 日の 2700 回記念家族会の時に行う「ロータリー賞」の授与の件で 4 月の理事会で話をしたい(理事に関係資料を配布)

本日のプログラム～林隆雄奉仕プロジェクト委員会・最高顧問の卓話

林会員には長年、消防団長や鉄工所を営みながらも、更にもう一つ貴重な活動、**「行政相談委員」**があった。「職人」として育った会員は、最初はお断りしたが、当時の町長に強く依頼され引受けることになった。最初は無我夢中で勉強した、今年で節目の 10 年が経ったが、次年度はこの制度の 50 周年になるので、役員としてもう一年、継続することにした。今日はその「行政相談委員」の活動の内容を詳しく話をしてくれました。(抜粋)

◆**行政相談委員制度の誕生**・一般の国民にとっては、苦情等を役所に気軽に・親しく申し出るのが困難なため、また、行政監察局などが県庁所在地にしかないため、昭和 36 年 4 月、「行政苦情相談協力委員」を設置し、民間の有識者を委員に委嘱して、行政相談委員制度が誕生した。

◆**目的**・地域の人の行政に関する苦情の解決の促進に資するため、苦情の相談に関する業務の委嘱について必要な事項を定め、もつて行政の民主的な運営に寄与すること。総務大臣は、社会的信望があり、かつ、行政運営の改善について理解と熱意を有する者に業務を委嘱する。

◆**基本的態度**・相談業務の処理に当っては、懇切、丁寧、迅速を旨とし、地域住民の信頼と関係行政機関等の協力を得るよう配慮し、もって業務の円滑なる遂行を図る。

◆**範囲**・苦情の斡旋の対象となる範囲は、国の行政機関の業務・特殊法人や独立行政法人の業務・地方公共団体の業務で法定受託事務に該当する・国から委任又は補助を受けて行っている業務

◆**できない業務**・捜査中のもの・裁判所に係属中のもの・既に判決のあったもの・裁判上の和解、調停、仲裁のあったもの・不服申立がされているもの・高度の政治的、技術的判断を要するもの。

責任編集　弟子屈 RC 会報委員会　　会報委員長　木暮敏男　　委員　竹森英彦